

かみ

議会だより

平成26年
12月定例会
第40号



いっぱい とったぞ〜!

(小代小学校 かるた大会)

— CONTENTS —

- 年頭あいさつ 2
- 補正予算（山手区画整理事業ほか） 3
- 追跡 あの質問どうなった？ 13
- 住民の声届くか（10人が一般質問） 7～12
- この人ここにあり 16

あけましておめでとうございます

香美町議会議長

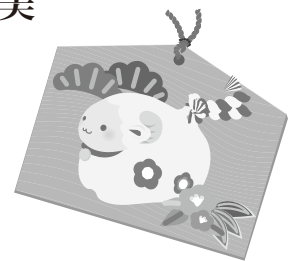
西坂 秀美



あけましておめでとうございます。新年をご家族お揃いでお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は日本創成会議の発表に大きな衝撃がはりました。2040年には1千800市区町村中896の自治体が消滅の可能性が高いとの事です。我が香美町も例外ではなく、6月議会一般質問では多くの議員が人口減少問題について質しました。総務民生常任委員会では人口減少対策、若者の定住対策、産業建設文教常任委員会は農水産物の付加価値を高める香美町ブランドの確立と販売促進について先進地を行政視察しました。町長をはじめ

め、担当課にその視察内容を説明し、香美町はどうあるべきかを提言する等、直面する喫緊の課題にも取り組んでいます。広報公聴常任委員会のアンケート調査では今日までに18集落で実施させていただきました。議会に対する叱咤激励の声、町政に対する要望等、多くのご意見をいただいております。町政への要望等は担当課へおつなぎしております。調査結果につきましては別途報告させていただきます。区長様をはじめ町民の皆様には何かとお世話になります。今後ともよろしくお願ひいたします。皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。



第82回・第83回
10月臨時会

平成26年度
一般会計補正予算

大雨による浸水で追加工事

10月14日臨時会が開催され、耐震工事施工中の村岡小体育館が台風や大雨による浸水被害で床板全面張替やシロアリ対策等の追加工事を行うことになり、一般会計補正予算の議案が提案されました。続く28日の臨時会では、この村岡小体育館耐震工事の変更契約の議案が提案され、いずれも原案どおり可決しました。



耐震工事中の村岡小学校体育館

一般会計補正予算

質疑

問 9月上旬には村岡小体育館の追加工事の必要を認識していたのに9月議会で追加補正の提案がなぜできなかったのか

答 浸水被害の全容解明と工事費の積算が間に合わなかったからです。

問 施工業者が当初考えていた工法なら今回のことは起こらなかったのかこの責任は誰にあるのか

答 業者提案は仮設の屋根の設置・撤去に日数が

賛成多数で可決

村岡小体育館耐震
工事変更契約

変更図面の作成と数量の精査、積算単価の見直しにより、2千200万円の補正予算より218万円減額し、追加工事費1千982万円増で変更契約を締結します。

変更契約の内容

契約の目的

村岡小学校体育館耐震補強及び大規模改修工事

契約の相手方

但南・北村工務店特別企業体
代表者但南建設(株)香住営業所

契約の内容

請負金額「金153,900,000円」を
「金173,713,680円」に変更

全員賛成で可決

平成26年度 一般会計補正予算

債務負担行為補正

山手土地区画整理組合事業補助金（造成事業分） 期間26年度～29年度 限度額 1億5千万円
防犯灯（LED照明）リース料 期間26年度～36年度 限度額 1千155万4千円

一般会計

12月定例会には、一般会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、公立香住病院事業企業会計、下水道事業企業会計補正の5議案が提案されました。

一般会計補正予算では、山手土地区画整理事業（造成事業分）、防犯灯（リース料）への債務負担行為が提出され、多くの議論がありました。賛成多数で原案を可決し、他4議案は全員賛成で可決しました。主な質疑は次のとおりです。

質疑

◆防犯灯（LED照明）について

問 リース料契約であるが、リース契約の終了した10年後はどうなるのか。また、契約日はいつなのか。リース料は何月分のものか

答 無償譲渡され町有管理となります。また契約日は27年3月1日で1ヵ月分の料金です。

問 保守点検はどうなるのか

答 今回導入する器具の耐用年数は15年以上と聞

いていますので、そんなに修繕費はかからないと思います。

◆山手区画整理事業について

問 一般質問の中で町長答弁では、この区画整理事業には積極的支援また販売にも協力すると言われたが、どのようなものか。また、公共施設とはどんなものを考えているのか

答 積極的な支援とは、この度の補正で提案させていたれています。擁壁工事を含めた工事費と確定測量をして債務負担行為の期間中に土地登記等の目途がたつということに支援することです。保

留地販売の積極的支援とは、組合と状況、情報などを密にし、問題を共有しながら販売の支援をしていきます。今後予想される公共施設の建て替えとか新たに整備するとかが発生した場合に他の町有地またこの保留地を含めてどのような施設を整備していくのかの中で、山手の保留地も有力な土地とするなら支援するとの考えです。

問 今まで町は積極的な支援をしてきたと認識しているか

答 今までの町の関与の仕方は積極的でなかったと判断しています。今後は、組合の皆さんと共同歩調を取りながら正面から取り組んでいきます。

問 今後5年が経過する中で保留地の販売ができなかった場合はどうするのか

答 計画延長した5年の間に残りの80区画を販売し事業費に充てるのが最大の目標です。しかし、その時に販売ができず終息に至らない場合、組合の皆さんと今後の方針を立て、町としても対応を考えていきます。

問 これが町として最後の支援か

答 この1億5千万円をつぎ込むことで換地処分ができる一定の目途がつきます。今後の支援については事業の進捗をみながら判断をしていきたいと思っています。

※保留地Ⅱ未売却の80区画の土地

◆有害鳥獣対策について

問 捕獲野猪止めさし報償費の説明を

答 本年度当初予定していましたが、止めさし350頭、鹿の止めさし350頭でしたが、現在の報告を受けています。猪が407頭、鹿が682頭であり計画を大きくオーバーしているためです。



整備が待たれる山手の土地

わが町のいじめ問題への対応!!

香美町いじめ問題対策連絡協議会等設置条例の制定

- 香美町いじめ問題対策連絡協議会
 - 香美町いじめ問題対策委員会
 - 香美町いじめ問題調査委員会
- の設置に関する規定

みんなでいじめをなくそう

質疑

問 そもそも「いじめ」をどのように定義し、とらえているか

答 いじめとは、児童生徒に対して当該児童生徒が、在籍する学校に在籍しているなど当該児童生徒と一定の人間関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為と定義しています。

問 連絡協議会の説明の中で、委員の中に警察も入るとの説明があったがそれでいいと思っているのか

答 委員の中に美方警察も考えています。いじめ防止対策推進法の中に、都道府県警察も規定されており、捜査することと

は別で情報交換・連絡協議をするということが入っていました。

問 連絡協議会と保護者や教師との関わりはどうなっているか

答 連絡協議会の構成員の中には学校の代表の方、保護者の代表の方も入っていました。

問 高校でいじめが起きた場合は、この条例に関わりがあるのか

答 この条例は香美町立の小学校、中学校が対象です。

全員賛成で可決

香美町木質バイオマスセンター設置に伴い

林業振興と地球温暖化防止に寄与

香美町木質バイオマスセンター条例の制定

- 指定管理者制度による管理等を規定

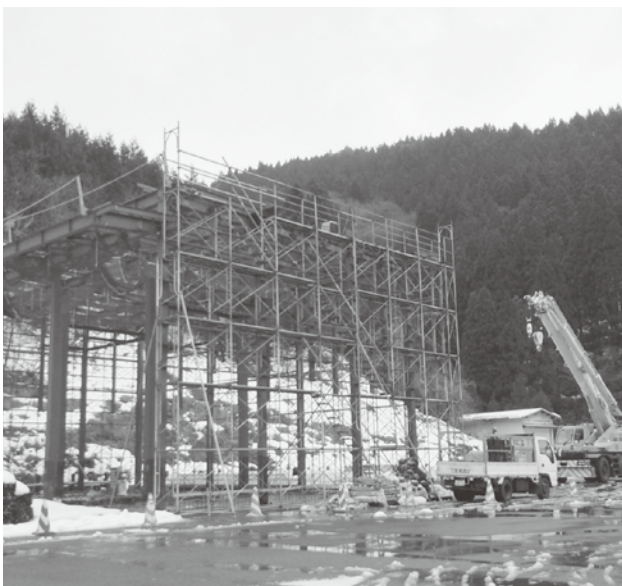
質疑

問 指定管理者による管理と規定しているが、その他の方法として使用貸借などが考えられるが、検討したのか

答 当初から指定管理としていたので検討はしていません。本来は26年度事業として北但西部森林組合が自前でやられるこ

とについて25年度の予算で県の補助金を受ければ森林組合自体も香美町も新温泉町も非常に負担が軽くなることに着目して25年度の繰越予算で整備をしたものです。事業主体が町であっても、固定資産税相当額を負担いただきます。

全員賛成で可決



建設中の木質バイオマスセンター建屋

条例改正

機能別団員 導入 昼間の団員不足を補う

香美町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例 及び香美町非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する 条例の一部を改正する条例

機能別団員を配置する分団

余 部 分 団	8 名
奥 佐 津 分 団	8 名
長 井 第 1 分 団	4 名
長 井 第 2 分 団	4 名
小 代 第 1 分 団	4 名
小 代 第 2 分 団	4 名
小 代 第 3 分 団	4 名
小 代 第 4 分 団	4 名
小 代 第 5 分 団	4 名
小 代 第 6 分 団	4 名
合 計	48 名

団員の定数（人）

基 本 団 員	965
機 能 別 団 員	48
合 計	1,013

○機能別団員Ⅱ団員若しくは消防職員の経験有する者又は団員として必要な知識経験を有すると団長が認めた者のうちから、町長の承認を得て団長が任用する。

問 新たに機能別団員が設置されているが、職務と活動の範囲は

答 火災のみの活動ということで職務を限定しています。水害等その他災害が予想される場合は自主防災組織の一員として活動して頂くこととなります。基本的には分団内の火災に当たって頂くのが職務になりますので、今のところ他分団への出動は想定しておりません。

質 疑

全員賛成で可決



操法大会の様子

香美町 寒冷地手当の廃止・給料表の見直しなど 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

○平成26年8月7日付けの人事院勧告等により、香美町一般職の職員の給与に関する条例等、所要の改正を行うものです。

質 疑

問 今回の期末手当、給与改定について香美町内民間水準がどうなっているか調べたことがあるか

答 民間との比較調査は実施していません。数年前における事務職の初任給比較では民間より高くなり、かえって低いくらいの水準だったと記憶しています。

答 地域への影響は町の職員の給与を参考にして、その点では若干の影響があると思います。

反対討論 谷口眞治議員

給与制度の総合見直しによる給与表の引き下げは、職員の志気の低下や人材確保への悪影響となるもので、現在日本経済にとつて賃金上昇によつて国民の所得を増やすことが経済の好循環につながるもので、その点からみても今回の賃下げはとうてい認めることはできない。そつこく中止を求める。

賛成多数で可決

問 今回の職員の給与の引き下げによる地域への影響はあるか

答 保育士と幼稚園の教諭については一般職の給料表を適用しています。介護職については技能職の給料表を適用しています。



安心・安全 香住第一中学校

契約 香住第一中学校 耐震大規模改修工事

5工事で総額962万円
の追加契約変更提案がありました。

- ①天井下地取り替え等、普通教室棟の改修
- ②外壁クラック補修数量の増加等、昇降口棟改修
- ③ミーティングルームのエアコン追加設置等、渡り廊下棟の改修
- ④軒樋防水の工法変更等、産業教室棟の改修
- ⑤幹線経路変更の電気設備

質疑

問 給食受入口シャッター、校章、給湯室流し台、ガスコンロ等の取り換えなどは、設計の段階で分からなかったのか

答 取り外し、足場設置後の現認で取り換えが必要となったものです。

全員賛成で可決

計画 新町まちづくり計画の変更

基本的な条件は、計画の期間を平成27年度までの11年間で平成32年度に延長して16年間とし、財政計画を歳入14区分で32年まで各年度額を提案されました。

質疑

問 本計画と総合計画の関係はどうなるか

答 本計画は、総合計画で定めた基本に沿った計画であり、合併特例債の受け皿と考えています。

全員賛成で可決

問 27年度以降の人件費の考え方は

答 適正化計画は、今後の推移を見守り考えます。

問 地方交付税の算定根拠は

答 町税減収など他の要素と28年度以降の5年間の激変緩和を勘案した数値です。



人権擁護委員

次の方を人権擁護委員として法務大臣に推薦することに同意しました。
任期は平成27年4月1日から3年間です。



村岡区長坂299番地の1
ふるかわみづる
古川美鶴さん

議案の審議結果

※全員が賛成の議案は、表示していません。

議 案 名			議 員 名															
			岸本 正人	藤井 昌彦	見塚 修	徳田喜代子	西谷 尚	山森 昭夫	山本 賢司	谷口 眞治	寺川 秀志	森 利秋	田野 公大	橘 秀太郎	西川 誠一	上田 勝幸	西村 伸一	西坂 秀美
12月定例会	議案第118号	平成26年度香美町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第120号	平成26年度香美町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—
	議案第126号	香美町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例を定めることについて	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	—

○…賛成 ×…反対 ※議長は採決に加わりませんので—で表示しています。

町政を問う

12月定例会での一般質問は、12月4日と5日に10名の議員が町政全般について質問を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。



待望・矢田川右岸道路整備!! 防犯灯LED化補助!!



きれいにして回収されたペットボトル

平成27年度予算の編成に向け、まちに安心・安全を構築するための施策



見塚 修 議員

孤立集落対策と防犯灯LED促進は積極的取り組みと補助を検討します

を伺う。

1. 災害時に孤立する恐れがある集落の生命（医療）、物資の確保のためヘリポートの整備が必要ではないか
2. 同じく迂回路として香住区内と長板石寺間の矢田川右岸道路の整備が必要ではないか

町長 1. ヘリポートやドクターカーとのランドブーポイントを整備して、町民の生命を守りたいと思います。候補地の

選定等自治会の協力を得て積極的に取り組みます。

2. これら路線は地域からの要望もあり、迂回路整備は人命確保のため、実現に向け頑張ります。
3. 自治会や各種団体等が設置した防犯灯のLED化は来年度以降に補助制度を検討します。



寺川 秀志 議員

町内循環型のリサイクルを目指せ。スペースと費用を考えると難しい

ごみの分別は、平成26年10月から9分別に変わったが、分別にならない町民、不適正ごみ等、今日までの状況をどのように把握しているか。

香美町環境美化推進協

議会は、目的のため町民の意識を高められるか。

また、ペットボトルは、なぜ町でリサイクルしないか。町外の業者に委託するのか。

従前からある保健衛生に貢献した人への表彰は、環境美化推進協議会でも表彰制度を設けるべきだ。

町長 10月から新しい分別による収集を開始したが、当初は問合せが殺

到し、収集の現場でも不適正ごみがでました。

香美町環境美化推進協議会と、目的達成のため各區間の交流や情報を共有しながら一体となつて取り組みます。

ペットボトルのリサイクルを町で行うのは、広い場所も必要ですし、費用もかかり、難しいです。表彰規定は、今後の環境美化推進協議会で検討いただくよう説明します。



遊休施設・東港上屋 香美町創生は町の資源を使い尽くすこと



老朽化した観光案内看板

香住駅前の観光案内板の整備を ライトの支柱の取外しを考えます



徳田 喜代子 議員

香美町の玄関口である
JR香住駅付近にある観
光案内板が老朽化し、看

板に設置しているライトも壊れ、歩道を通行する住民や観光客が不安を募らせている。山陰海岸ジオパークエリア内の観光の町として駅周辺の活性化に向け、観光案内看板の整備や安全対策について町長の所見を伺う。

町長 年々商店がなくなり空き地が増え荒廃しています。観光振興を柱としている本町にとって町の玄関口にふさわしい状態にしなければならぬと考えています。正面の建物壁面の観光案内板は年数がたち、情報も古く照明ライトの支柱は腐

食し落下の危険性があります。看板所有の会社もなくなり関係者の特定が難しく、町としてすぐに手をつけるには検討が必要です。住民を始め観光客の安全を考え、最低限照明ライトの取外しについては考えます。景観を損ねている空き店舗も含め、今後できる範囲の中で対応に努めます。

“香美町創生” 早急に取り組め 町の総合計画等の中で検討します



森 利秋 議員

国ではまち・ひと・しごと創生（地方創生）法が成立した。地方が成長する活力を取り戻し、人口減少を克服する。……従来からの取組の延長線上にはない次元の異なる大

胆な政策を、中長期的な観点から、確かな結果が出るまで断固として力強く実行する。と目標を定めている。香美町の人口推計は35年後には半減、やがて消滅するとの推計もある。従来の取組では推計通りになる可能性が大である。国の地方創生を踏まえ、香美町創生について町長の所見を伺う。

町長 活力と安心を取

り戻すための私の7つの重点施策はまさに地方創生の理念に沿うものと考えています。人口減少への対応は短期的に検討できるものでなく、町の第2次総合計画や過疎地域自立促進計画など中長期的なスパンで検討する必要がありますと考えています。その中で地方創生のための戦略など限られた予算の中で将来の活力あるまちづくりを検討します。



いつも守ってあげる!!

昨年9月には、神戸市長田区で小学生が殺害されるという不幸な凶悪事



藤井 昌彦 議員

防犯カメラ設置推進を!! 地域見守り活動推進します

件があり、連れ去り事件が増えている。子どもの通学路の安全、犯罪抑止力、行方不明者対策のため防犯カメラ設置推進を図るべきと思うが、町の考えはどうか。

町長 防犯カメラの設置には多額の費用がかか

り、プライバシーの問題もあります。犯罪が起こる兆しや社会情勢が運が高まれば香美町にも防犯カメラの設置検討も必要であると考えますが、現在のところは、町民の防犯意識の向上を啓発し、自主的な見守り活動を推進することが地域の子ど

もたちの安全、安心につながると考えています。



将来が不安!



山本 賢司 議員

必要な人が必要な時にサービスを 社会資源を総動員して将来に

介護保険は、必要の人がサービスを选べる、として始まり、待機などあり得ないはずである。ところが、自助・共助の法律で、特養ホームは介護度3以上者、要支援

1・2者のヘルパー、デイサービスの利用を取り上げ、介護認定すら受けさせない、負担も重くする、などとされようとしている。その上、シルバー人材センター、老人会、ボランティアなどに介護をさせる、と介護の量も質も低下させる、では介護保険の理念の変質ではないのか。

町長 介護保険の基本

理念は個人の尊厳を大切にし、本人の自立支援を目指すものです。今後10年間を見ると、65歳以上者は数%減、15〜64歳者は大幅減と予想され、長寿社会を支える担い手が不足すると見込まれるため、医療・介護事業者の他、各団体やグループ、地域の助け合いなどの社会資源を総動員して、将来の仕組を再構築し、保険者の責任を果たします。



山手の土地



老朽化が心配される香住斎場

香住斎場の今後の方向性を示せ!! 来年度には新温泉町と協議します



岸本 正人 議員

美方郡広域事務組合の斎場は新温泉町竹田の斎場だけである。香住区の

方々は香美町運営の斎場が一つあるが、約35年経過しており老朽化も進んでおり又空調施設が不十分で、夏など不快な思いもするとも聞く。この際美方郡広域への加入や現在地での新築等検討し方向性を示していく時期に來ていると思う。料金に

も差があることもあり、なるべく早く検討委員会等を立ち上げるなどして方向性を示すべきだ。

町長 香住区では香住斎場を、村岡区と小代区では広域美方苑を使用し、同じ町民でありながらその負担額にも差異がある

ことは決して好ましいことではなく、今後町民が利用しやすい施設の観点から、将来における町の斎場のあり方及びその整備方針について町単独か美方郡広域事務組合で整備をしていくのか、その方向性を定めるためにも平成27年度には新温泉町との協議を行いたいと考えています。

山手開発行きつく先は

事業完了に向け、最大限支援します



上田 勝幸 議員

事業完了に向け、保留地購入者の権利保護と保留地処分の促進策として1億5千万円の追加支援を決定した町長の正鶴を得た勇気ある英断と裁量に大いなる期待を寄せる

一人だ。

事業完了には、組合の負債の償還・組合での清算決議が必要だ。

それには残る80区画の販売が急務だと思う。

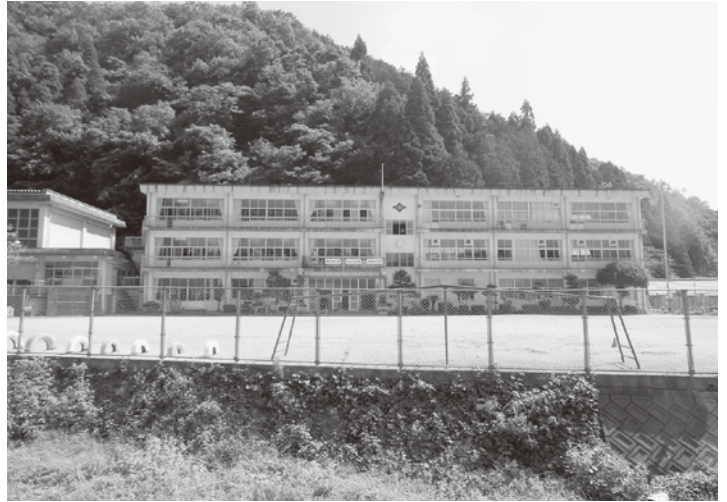
組合が総力を結集し、販売に取り組むは当然のこととし、町も一心同体とその一翼を担ってきたし、また優秀な頭脳集団としての集積回路をもっているのだから、町の威信をかけ、積極的に販売

に關与すべきと考えるが。

町長 保留地の販売に關しては今までの組合支援的な活動に加え、公共施設の建て替え、新設時の候補地の一つとして積極的に検討もします。専門的な意見もお聞きする中で効果的な販売戦略を立てることが必要です。町も販売には積極的に関与し協力していきたいと判断しています。



インバウンドが待たれる町内施設



一人ひとりに目が届く小さな学校の良さを



橘 秀太郎 議員

国内は人口減少時代になり、国も観光立国宣言、オリンピック誘致など外

インバウンドへの施策は 現時点では日本人に重点をおきます

国人観光客誘致（インバウンド）に焦点を当ててきている。外国人観光客が、大都市や一部地域に集中している現状の中、香美町としてこれからの外国人観光客に対する施策・対策が必要と考えるかどうか。また、観光客の方が情報発信するには

町長 現時点で香美町の観光が、どの地域、どの世代に焦点を当てて誘客を進めるのかを考えると、京阪神地域、広島や岡山などの中四国地域といった国内のお客様の誘

無線LANの整備も必要だと考えるが。

客を進めた方が実効的だという思いがあります。ただ、将来的に外国人観光客をお迎えする体制づくりを町として整える必要はあると考えています。但馬全域での連携も大事だと考えています。また、無線LANの整備は、すでに観光商工課で具体的検討を始めています。



谷口 眞治 議員

小規模校存続答申にどう応えるか 5年間存続に沿う施策展開します

がどう受け止め、さらに、答申付記にどう応えるか、町長の所信を求める。

教育長 答申の概要は、

①小規模校を今後5年間存続する。②「各学校教育環境会議（仮称）」を毎年開き、そこで学校の評価とともに学校存続も保護者等の総意で判断できる。③存廃問題など重要問題が生じた場合は町長が主宰する「教育総合

会議」が最終判断する。④付記として、積極的な少子化対策の展開を切望する。以上です。

町長 5年間存続の答申にそった施策の展開を図ります。少子化対策は若者定住・空き家対策・子育て支援・産業振興など全体課題として取り組みます。

その他こんな質問もしました

質問議員	質 問 項 目	質問議員	質 問 項 目
寺 川 秀 志	1. 香美町神戸営業所について 2. 香住道路の豊岡への延伸について	岸 本 正 人	1. 職員の寒冷地手当と通勤自動車の 駐車場利用料について 2. 空き家対策について 3. 地方創生法について
徳田喜代子	1. ごみの分別・収集について問う 2. 正午のサイレンについて問う		
山 本 賢 司	1. 総合計画の人口目標をどこに置く か 2. 目標を明確にした施策の連携を	谷 口 眞 治	1. こども・子育て支援について問う 2. 米価暴落対策について問う



香美町村岡区にある高井子育て・子育て支援センターを訪問し、子育て世代のお母様方にお話を伺いました。（訪問した日は約10組の親御さんたちが利用されていました。）



★高井子育て・子育て支援センターはよく利用されますか？

はい。よく利用させていただきます。センターの先生方に子育ての相談をしたり、子どもたちをたがいに遊ばせることができ助かっています。
お母さん同士も仲良くなれますし、小さいお子さんを連れてぜひみんなに利用してもらいたいです。

★香美町のいいところは？

町民の方がみんな優しいです。みんな人柄がよく、子ども達にも優しくしていただきます。
（この日は半分以上が町外から嫁いでこられたお母さんでした。）

★子育ての際に困った事がありますか？

病院を充実させてほしいです。
村岡病院は小児科が週一日なので安心できない時があります。
あと、子どもの遊ぶ場所がないのでなんとかしていただきたいです。

★香美町議会へ一言

冬など、外で遊べない時期は特にこのセンターのような施設は助かります。以前は土日も開館していたようなので、土日も来れるようになれば助かります。



追跡

あの質問はどうなった？



平成25年6月定例会での一般質問を追跡

子どもの遊び場や公園 の整備が必要と考えるが



子どもは外で遊びを通じて様々な事を学び、心身ともに成長するものである。

最近では、ゲーム機を使つての対人交流を必要としない屋内での遊びが増えている。

それは、魅力的な遊び場がないことも一因ではないだろうか？

子どもの遊び場の少なさについての行政側の認識を問う。

また、“公園像”について子育て世代の親と行政側の認識に大きなギャップがあるように思えるがどうか。



町長 行政としては、町内50の各区内には、それぞれ1ヶ所以上身近な遊び場があるという認識です。

この点で保護者の求めておられる公園像との認識の違いがあると思われます。

こども・子育て会議のような委員の方々等の意見も聞きながら、こどもの遊び場環境作りの議論もしていきます。

現在は、公園整備の計画はありませんが、現状の施設を中心に活用し、充実、改修が必要があると考えています。

又、グラウンドゴルフ場の近くに遊び場の整備なども検討します。

解説

今回の質問は、町内全体を見ては公園の数や遊具等が少ないのではないかと、子育て世代と、行政の間へ魅力的公園のとりえ方、考え方に違いがあるのでは？という質問でした。

町長の考えは、

- ・多少認識の違いはあるにしても、専門委員等の意見を聞きながら環境整備の議論を進めていく。

- ・遊び場は各地区に1ヶ所以上あるはずなので、それを活用していただく。

- ・遊具は、安全性が求められており、かなり高額となるため、新たな遊具設置は難しい。

- ・管理も地域関係者が行なって頂くことを原則と考えている。

ということでした。

今の状況

現在のしおかぜ香苑の現状は、1基あった遊具が危険というところで撤去されています。

香住区で整備されている所は、余部鉄橋「空の駅」公園・今子浦公園等です。

村岡区は御殿山公園（遊具1基）等です。

小代区には遊具のある公園はありません。



今子浦公園

総務民生常任委員会

委員長 西川 誠一

香美町の人口減少を食い止めるには

平成26年5月、日本創生会議が発表した2040年の人口推計結果では、地方からの人口流出が続くという前提で、2040年までに若年女性の人口が50%以上減少し、消滅する可能性がある市区町村は896自治体あるという事実が明らかにになりました。

香美町が無くなる？

香美町も消滅可能性自治体の一つであり、人口減少対策は喫緊の課題であります。そこで、総務民生常任委員会では、「日本一の子育て村」を目指す島根県邑南町と「定住対策」に取り組む島根県奥出雲町に出向き、両町の取り組みを視察研修しました。

施策はSNSで（スピード・ネーミング・ストーリー）

島根県邑南町は、平成22年度から「日本一の子育て村を目指して」という明確な子育て支援の方向を示し、少子化対策に取り組んでいました。

具体的には、いち早く中学校卒業時までの医療費の無料化、第2子以降の保育料無料、24時間救急受付可能、一般不妊治療費助成制度、商工会と共同で子育て支援付与制度、定住支援コーディネートが定住支援をサポートするなど多くの子育て支援施策が展開されていました。

経済的負担を和らげ、生活環境を整備して家族が安心して子育てできるように医療・保健・福祉・教育・生活・環境など様々な面から一体的に



そりで遊んで囲炉裏でほっこり
奥出雲町の田舎暮らし体験ツアー
(写真提供：奥出雲町)

支援をしていることの説明を詳しく受けました。

「田舎暮らしのパッケージ化」で定住対策

島根県奥出雲町では、「しごと・すまい・くらしをパッケージ化して田舎暮らしの価値観を」と訴え定住対策に取り組んでいました。

具体的な施策として、UIターン者向けに空き家活用定住整備事業を始

めに、空き家バンク制度を実施し、実態調査、アンケート実施、改修補助金制度、親元に帰ろう補助金など定住支援に加えて子育て支援、就労支援なども手厚く行なっていました。

視察研修を終えて

両町の視察研修を終えて、委員会ではまとめとして次のように町に報告しました。

人口減少問題は、香美町にとって喫緊の課題です。町の対策としては、まず今後の町の姿をわかりやすく町民に発信し、方向性や目標を明確に示しながら行政は横断的な専門課を配置することが必要であり、単発的な施策では功を奏さないことを念頭に入れこの課題に真摯に取り組んでいただきたいと提言しました。

香美町ブランド認定制度の創設を

産業建設文教常任委員会

委員長 岸 本 正 人

香美町には豊かな自然優れた生産技術から生まれた町産品が多くあります。その中で一定の基準を満たすものを「香美町ブランド」に認定し、特産物及び観光の振興と地域の活性化に資するため、の制度を創設するべく、先進的な取り組みをしている滋賀県高島市・福井県福井市を視察しました。

びわ湖源流の郷たかしま認定事業

高島市は人口約5万2千人の市ですが、担い手農家の高齢化と後継者不足、耕作放棄地の増加、農産物価格の低迷などの課題を持っています。それらを解決するため、農産物のブランド化に活路を見出し、高島市認定ブランド「びわ湖源流の郷たかしま」制度を創設しました。

この制度の認定区分は、

次のように3つにランク分けされています。

●認定区分

- ①農薬・化学肥料不使用
- ②農薬・化学肥料通常の5割以下使用
- ③農薬・化学肥料適正使用

主な販売先は、道の駅4カ所、J A コープ、販売店認定する店舗などです。

認定制度創設により、

- ①認定シールの貼付により、安全・安心な特産物としてアピールでき販売促進が図れる。
 - ②市などが主催するイベント等においてPR・推奨される。
 - ③市や関係団体の業務に優先して使用される。
 - ④市等のパンフレットやインターネットにより広くPRされる。
- などの効果があり、売上高は年々増加しています。

ふくいの恵み認定事業

福井市は人口約26万4千人の市です。地域に埋もれている良質な地元加工品の掘り起こし、それら商品の消費・販路の拡大、地産地消の推進を目的に福井市認定ブランド「ふくいの恵み」制度を創設しました。

- 認定区分
 - ①S認定 主原料の産地が福井市内である加工品
 - ②A認定 主原料の産地が福井県内である加工品
- 主な販売先は、百貨店、スーパー、各種物産展等への出店等です。
- この制度を創設してから市あげてのPRが功を奏し、平成25年度は約1億2千万円の販売実績となっています。
- 現在では、販路拡大の



高島市認証ブランド米

ため「地産地消」から「地産外商」に方針転換し、県外向けのPRに力を入れていきます。また、認定基準を改正し、「福井らしさ」を持つ歴史・文化・技術的製品もブランドの対象としています。

視察研修を終えて

委員会では、香美町ブランド創設について次のように町に提言しました。

1. 対象産品及び認定基準について

- ⑦農産品及びその加工品については、高島市のような生産者が参加しやすい基準を設けること。
 - ⑧水産品及びその加工品については、福井市方式を参考にランク基準も含めて検討すること。
 - 2. 地域資源の活用について
- 企業・個人に積極的に働きかけ、新しい商品の開発、また懐かしい商品の発掘を促し地域の活性化を図ること。

こころのこころ

(小代区)

今回の取材は、バレーチーム「小代バレーボールクラブ」のコーチ、井上貞治（いのうえさだはる）さん（小代区秋岡在住）にお話を伺いました。



井上貞治さん

コーチ就任はいつから
平成23年から現在3年目です。

コーチとして日常の活動は

練習、試合での指導です。

コーチをする中での苦労（悩み）は

子どもたちへの伝え方で悩みます。いつも厳しくするばかりでは、やる

選手の学年（何年生から何年生）人数は
小代小学校2年生から6年生までで、15人です。

チームの運営費（会費）は

年会費1万円、あと試合、練習試合経費は別途徴収します。



和をもって技を征す!!

気をなくし、緩め過ぎるとダメです。メリハリの付け方が難しいです。

日々の活動を通して感じる事は

子どもたちの成長が一番です。技術の上達が早いのは驚かされます。

また、礼儀を重んじ、誰にでも挨拶できるように指導しています。想いとしては、将来的に中学校

高校、社会人となってもバレーボールを生涯スポーツとして続けていって欲しいです。

遠方へは、どの辺まで行かれますか

一番遠くで姫路市や宍粟市一宮町でした。

香美町議会に意見がありましたら

射添小学校とチャレンジプラン等で交流がありますが、その輪をもっと香美町全体に広げて欲しいと思います。もっともつと交流したらいいと思います。

クラブの歩み（略歴）

創立年月日は定かではありませんが、約30年の歴史があり、「和をもって技を征す!!」ひとりひとりが上手になってもダメ、みんなで上手になっていく事が大切であるという事をチームのスローガンに小代小体育館では、日々元気な子どもたちの声が響いています。

チームでは「誰にでも挨拶できる」ことを指導しています。子どもたちはしっかり明るい気持ちのよい挨拶をしてくれるでしょう。どうか皆さん応援してください!!宜しくお願いします。



チームの集合写真

編集後記

新しい年を迎え、町民の皆様におかれましては、健やかで希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年末には国政選挙もあり、今春には統一地方選挙が予定されています。香美町も平成17年に合併して以来早くも10年が経とうとしております。

議会だよりは、町民の皆様と行政・議会をつなぐ広報紙として期待に添えるべく、心がけて編集してまいりました。「平成27年 末年」長くなつた羊毛を刈って心機一転するように、議会機能を一層充実させ、香美町の区切りとなるこの年が町と皆様にとりまして幸多き年となりますことを祈念して編集後記といたします。

編集発行責任者

議長 西坂 秀美

広報公聴常任委員会

委員長 橘 秀太郎

副委員長 徳田喜代子

委員 藤井 昌彦

委員 西谷 尚

委員 山森 昭夫

委員 田野 公大

委員 西村 伸一